

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年10月30日

計画の名称	坂出市における防災・減災対策の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	坂出市												
計画の目標	南海トラフ地震又はその他の大規模地震が想定されている地域における津波等による背後地の浸水面積の低減												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	350	A	350	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R02末
1	南海トラフ巨大地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率の向上 海岸堤防等の整備率の向上 (海岸堤防等の整備率) = (地震津波における整備により防護が完了した面積) / (整備地区における全防護面積)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
海岸事業	A09-001	海岸	一般	坂出市	直接	坂出市	高潮	港湾	坂出地区海岸津波等対策 整備事業	護岸等 782m	坂出市						332		策定済	
	A09-002	海岸	一般	坂出市	直接	坂出市	老朽化	港湾	坂出港海岸 長寿命化計 画作成	長寿命化計画作成	坂出港海岸						13		-	
	A09-003	海岸	離島	坂出市	直接	坂出市	老朽化	港湾	与島港海岸 長寿命化計 画作成	長寿命化計画作成	与島港海岸						5		-	
												小計						350		
												合計						350		

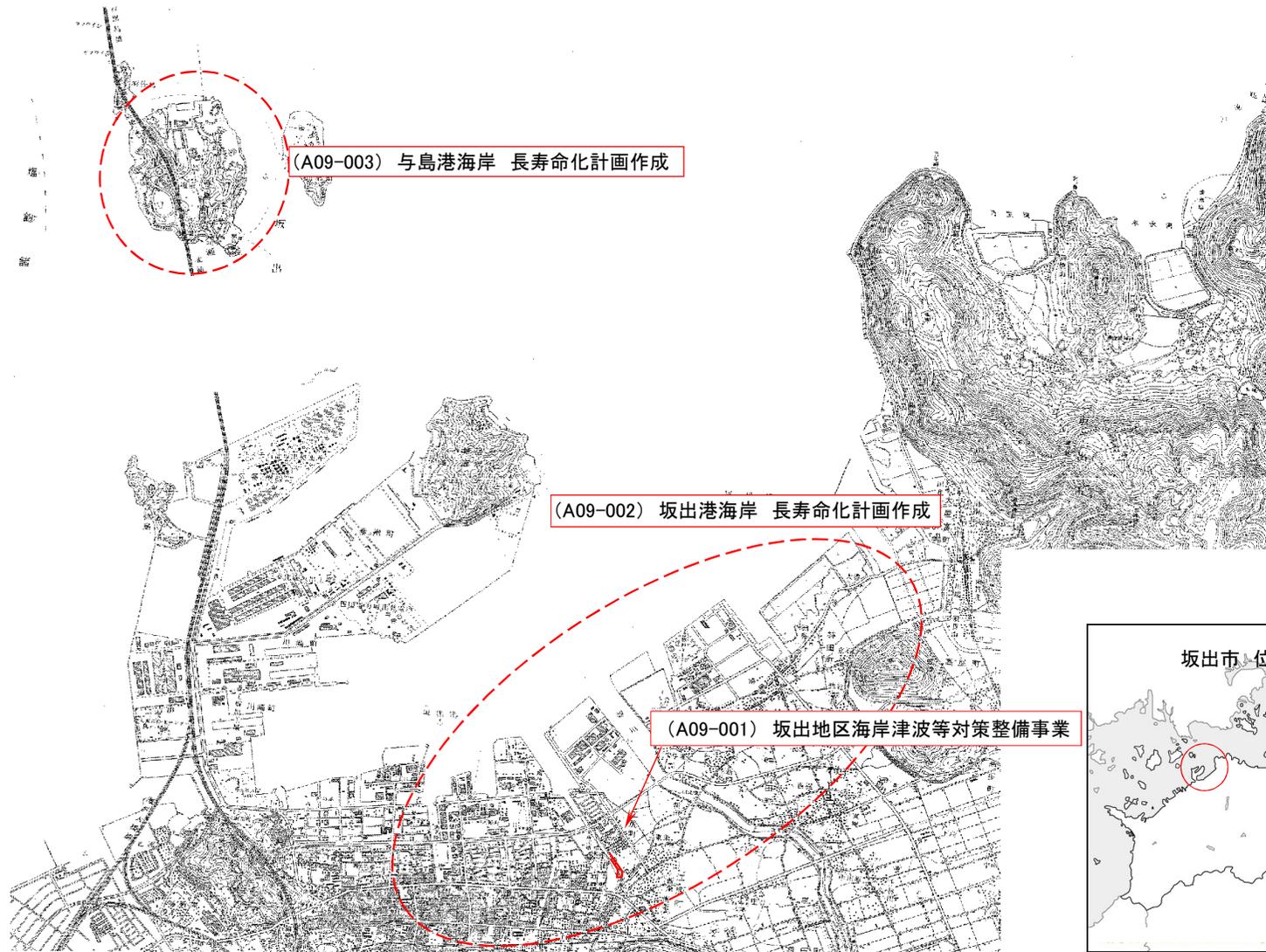
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	
配分額 (a)	33	19	19	67	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	33	19	19	67	
前年度からの繰越額 (d)	0	20	2	1	
支払済額 (e)	13	37	21	12	
翌年度繰越額 (f)	20	2	0	56	
うち未契約繰越額(g)	8	2	0	12	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	24.24	5.12	0	17.64	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係者との協議に不測の日数を要したため基本設計までの発注となった。			通行規制に関する地元調整に不測の日数を要したため、当年度中の事業執行が困難となった。	

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	1 坂出市における防災・減災対策の推進（防災・安全）	交付対象	坂出市
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）		



事前評価チェックシート

計画の名称： 坂出市における防災・減災対策の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（社会資本整備重点計画、坂出市地域防災計画、海岸保全基本計画、香川県地震・津波対策海岸堤防等整備計画）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえ整備計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指数・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指数・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指数・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
I. 目標の妥当性 円滑な事業執行の環境	
I. 目標の妥当性 1) 計画の具体性、事業の熟度が高い。	○
I. 目標の妥当性 2) 全体事業費、要素事業費の額が適切である。	○
I. 目標の妥当性 3) 事業実施のための環境整備が図られている。	○